

J I N G U K A N

ももとせ便り

平成30年戊戌

冬号

No.42

特集

開運！

パワースポット探訪③

お地蔵様で和む寺

鎌倉長谷寺

季節の
開運ポイント

神宮館社長

木村 通子

冬の節気の中で小雪は2番目にあたり11月22日頃になります。寒い地方では初雪が降る頃です。日中は暖かい日もあります。が、確実に冬は近づき、朝晩は冷え込んできますので、服装には注意してください。暖色系の衣類を取り入れると、積極性が出て対人運がアップします。マフラーや手袋などを暖かみのある色にしても良いでしょう。

また、この時期が旬のほうれん草、オレンジやみかんなどの柑橘系果物を食べると開運につながり、「健康と美」を意識することで自然と笑顔があふれ気持ちも前向きになります。

冬は日に日に太陽が出てくる時間が短くなります。天気の良い日には、日光に当たるよう心掛けましょう。太陽のパワーを浴びれば、やる気が湧いてきて仕事運が上昇するので、寒さに負けず外出しましょう。



長谷寺の表門



長谷寺観音堂



鎌倉の街並み

鎌倉長谷寺。正式名、海光山慈照

院長谷寺は神奈川県鎌倉市にある古刹だ。奈良時代の天平8(736)年開創と伝えられ、聖武天皇の御代より勅願所と定められている。本尊の十二面観音菩薩像は高さ9・18mにも及ぶ金色に輝く木彫像で、木彫りの菩薩仏像では日本最大級。

今回の旅の目的は、お地藏様に和みをおたたくこと。長谷寺の境内3カ所に3体が寄り添った小さなお地藏様「良縁地藏」が置かれており、全てを見つけると良縁に恵まれるとか。

長谷観音バス停から徒歩3分ほどで鎌倉長谷寺が見える。最初に目に飛び込んでくるのは赤い提灯と立派な松の木。



パワースポット探訪③

お地藏様で和む寺

鎌倉長谷寺



まなお守りを眺めるのも楽しみの一つだ。今回授かったのは「てんとう虫守」。転倒防止、点取り虫、交通安全、開運招福のお守りとして人気を博す。他にもイチゴ型やスイカ型など持ち歩くのが楽しくなるお守りが多くある。

本堂隣の観音ミュージアムを奥に進むと写経が納められた「経蔵」があり、そのそばでようやく良縁地藏の1対に出会えた。目を細めてほほ笑み寄り添うお姿を眺めて



▲経蔵



◀さわり大黒天

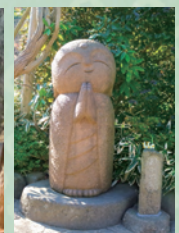
さわりて福運を招きましょう!

本堂に向かう石畳の参道に3対目のお姿が。これで良縁に恵まれることができそうだ。

鎌倉長谷寺には他にも、さわり大黒天が祀られている「大黒堂」、弁財天と十六童子が刻出されている「弁天堂・弁天窟」、大きなお地藏様「和み地藏」など見どころが満載だ。鎌倉といえば大仏を思い浮かべる人も多いかもしれないが、ほど近い鎌倉長谷寺にも訪れてほしい。心洗われるお地藏様に会いに。



弁財天と十六童子▶



◀和み地藏



可愛いハート形♪

表門脇の受付で拝観料を納めて入ると妙智池と放生池がある。今回訪れたのは冬だったが、ちらほらと花が咲いていた。「鎌倉の花の寺」とも呼ばれ季節ごとの花木を楽しむことができ、特に6月の紫陽花の時期が有名で「紫陽花寺」として親しまれている。

境内の花木を楽しみながら石段を上がりきると本堂が見えた。撮影不可のため写真は撮れなかったが、金色に輝く観音菩薩像は必見。本堂では他の寺院では見かけないようなさまざま

さに縁結び。眺望散策路で行き止まりなので元の道に戻らなければいけないのだが、最後の1対に出会えていい。歩いてきた道を注意深く戻ると、



DATA
 鎌倉長谷寺 (かまくらはせでら)
 鎌倉市長谷3-11-2
 〈開門時間〉
 8:00~17:00(夏時間 3~9月)
 8:00~16:30(冬時間10~2月)



季節を彩る 和のテーブル 正月

古くから伝わる習わしを取り入れたり四季折々の彩りを添えたり、旬の食材と共に日本の伝統や風情を味わいましょう。

《監修》下山 千津子 先生

食空間プロデューサー。日本文化・料理・テーブルコーディネート・花・マナーをトータルで学ぶおもてなしサロン「chizu」主宰。歳時記・五節句を中心とした空間プロデュース、セミナー、レッスンを展開。



今年一年の幸福を祈り、家族で過ごす大切な日。1月1日の日の出と共にやって来る年神様を、お家でお迎えする正月。五穀豊穡、家内安全を祈り、正月の食卓には「おせち」が登場します。「めでたさが重なる」の意味から、重箱に縁起物の食材をぎっしり詰め込みながら、幸せを願うものです。テーブルには縁起物の松、南天、新年の寿に相応しい花を飾ります。光沢のあるゴールド色のクロスに紅白のナプキン、華やかな花模様の帯をテーブルランナーに敷き、和紙で扇形に折った箸置きを添え、晴れやかでおめでたい正月を表現します。一年の邪気を祓うお屠蘇を頂いた後は、餅の形や出汁の味付け、具材にいたるまで千差万別、お家に伝わる雑煮を漆器の蓋物椀で頂きます。家族で囲む正月は、後世へ繋げていく大切な日本のしきたりです。

冬至

厳しい寒さを乗り越える先人の知恵

12月22日頃、一年で最も昼が短く、最も夜が長い日が「冬至」です。この日の太陽は南回帰線の真上にあがり、北半球では正午の太陽の高さが一年で最も低くなります。

昔からこの日を二年の境目として祝う風習があり、旧暦の11月1日が冬至に当たった年は「朔旦冬至」といつて特に喜ばしいとされました。

中国では古くから、冬至を境に太陽の力が復活すると考えられ、『易経』には「陽来復（いちちようらいふく）」という言葉が残されています。

冬至には、赤い小豆を使った小豆粥や体内に溜まった砂を出すといわれるこんにやくのほか「南瓜（なんきん）」のように「ん」運がつくものを食べたり、ゆず湯に入ったりして、邪気を祓う習わしが今も続いています。

冬至に南瓜などを食べるのは、春を呼び戻す神の子を祀り、神様と一緒に子供え物をいただく「直会」のなごり、ゆず湯に入るのは、五月の節句の菖蒲湯と同様、身を清めるみそぎのなごりとされています。



南瓜は野菜が不足しがちな冬の大切な栄養源であり、ゆず湯は冷え性、神経痛などの症状を和らげます。冬至の習わしは厳しい冬を乗り越える知恵なのです。

神宮館の本

SELECT

知らないと恥ずかしい 冠婚葬祭マナー事典

◎一家に一冊あれば安心
大人として身に付けるべき
冠婚葬祭マナー

「結婚式のご祝儀袋の宛名ってどう書くの?」「お通夜の時の服装は?」「喜寿のお祝いは何歳?」など、とつきの時でもあわてることなく、大人として恥ずかしくない振る舞いはしたいものです。本書は結婚式や葬儀、節目のお祝い、年中行事など、いざという時に役立つ冠婚葬祭の基本的なマナーを収めた一冊です。



定価 680円(税込)

新発売

京都 お守りめぐり

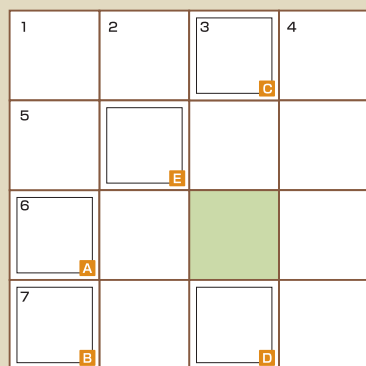


定価 1512円(税込)

◎あなたにピッタリのお守りが見つかる
京都旅行はいかが?

寺社が多い京都は、お守りの種類も豊富。317種類のお守りを縁結び・健康・金運など、ご利益別に写真入りで紹介しているので、お気に入りのお守りを見つけることができます。神社の参拝の仕方やお守りにまつわる基礎知識、アクセスや参拝時間がわかる寺社紹介や地図など、すぐに京都で使える情報が満載です。

全国の書店または
神宮館オンラインショップ
<http://shop.jingukan.jp/>
にてお求めいただけます。



“暦”の クロスワード パズル

A~Eの順に並べて1つの単語を作ってください

タテのヒント

1. ○○○○いは出産の無事を祈る思いやり
2. 瓶の栓を抜くための器具
3. 江戸時代の庶民の憧れ、お○○参り
4. 毎年1月17日に行われる秋田のお祭、○○○○祭

ヨコのヒント

1. 歳末にお世話になった人への贈り物
5. 手紙を書く用紙
6. 十二支の11番目
7. 会席料理で一の膳のわきに置かれる膳

応募方法

郵便はがき

「お名前」「郵便番号」「住所」「電話番号」「生年月日」「クイズの答え」「ご意見・ご感想」を必ず明記ください。

応募先 〒110-0015 東京都台東区東上野1-1-4
株式会社神宮館 「ももとせクイズ」係

インターネット

<http://www.jingukan.co.jp/momotose-present/>
右のQRコードを読み込み、応募フォームにアクセスしてください。



応募締切 2018年12月末日

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※前回の答え「オハギ」

今回のプレゼント

えんぎもん
お守り入浴剤2個セット 7名様

※写真と色が異なる場合があります。



塗り絵をしよう!!

頭の体操

色鉛筆一つでできる「塗り絵」。色の選択と調和を想像したり、手先を使って行う事で、脳が生き生きとすることが分かっています。好きなように、自由に色を塗って、脳を活性化しましょう。

〈 今号のお題 〉
シクラメン

